学校番号	211

令和５年度　芸術（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅲ　教育出版						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」と「楽器を演奏すること」を中心に、「音楽を創ること」、「音楽を聴くこと」を交えて１年間通して様々なアンサンブルについて学習します。
・学習の到達度は、練習記録レポートや演奏会での発表や実技テストで見ます。
・音楽は音で表現する芸術です。仲間とともに実際に音を合わせ、発表することで音は高められ、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２ 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解をさらに深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創造、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 課題プリント	観察 課題プリント	演奏の聴取 課題プリント 自己・相互評価	観察 課題プリント、レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	アンサンブルを楽しもう！	【歌唱】 斉唱 混声四部合唱 【器楽】 器楽合奏 独唱独奏発表 【鑑賞】 劇音楽	○	○	○	○	a:総合芸術であるオペラやミュージカルの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽が生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための演奏の技能を身に付けている。 d:声や楽器の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、アリアやミュージカルナンバーの演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、オペラやミュージカルに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 レポート 課題プリント 演奏の聴取
2学期	ハーモニーを奏でる喜びを味わおう！	【合唱】 斉唱 混声四部合唱 【器楽】 アンサンブル発表 【鑑賞】 劇音楽	○	○	○	○	a:純正律の音色、異種の楽器による合奏に関心をもち、創作や複数のパートを合わせて演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:目指す音楽を表現するために声や楽器の音色を選び、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:意図した音楽を表現する技能を身に付け、楽曲に於ける自分のパートの役割を意識し、創造的に表している。 d:作曲者の意図を知覚し、その表現を感受しながら、よさを創造的に味わって聴いている。	観察 レポート 演奏の聴取

3学期	様々な音楽を通して音楽文化についての理解を深めよう	【合唱・器楽・・鑑賞】 卒業演奏発表 能	○	○	○	○	a:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:能を表現するための声や楽器の音色など、能を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっているる。 c:能を表現する技能を身に付け、楽曲に於ける自分のパートの役割を意識し、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、邦楽の種類とそれぞれの特徴を理解したり、それらの価値を考えたりして、邦楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 レポート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。